

My ボランティアサークル交流会

R6.11.17(sun) in クラッピンサガエ



11月17日(日)に、さくらんぼこどもキャンパス クラッピンサガエを会場に、西村山地区開催MYボランティアサークル交流会を実施しました。今回は、尾花沢市ボランティアサークル「風ぐるま」と県青年の家コーディネートボランティアサークル「nicoこえ」が参加しました。



情報交換会

企画実施後に、それぞれのサークルの活動状況などを紹介したり、課題を共有したり、情報交換を行いました。

「nicoこえ」

- 3年前の立ち上げの時期は、オンラインで協議していたが、コロナが落ち着き、少しずつ、ごみ拾いなど身近なところから活動を始めた。
- メンバーの一人が、「小児がん支援」をしたいと提案し、レモネードスタンドが始まり、現在は、様々な企業等から要請がある。
- 様々な年代、立場の人と関わり、学びが多い。
- 他校の中高生や地域のヒトとの縁を感じる。
- 話すことが苦手だった自分が変わった。

「風ぐるま」

- 会員がゼロになったが、今年8月に募集をかけ、16人が集まり、再始動中。
- これまで、幼児施設の夕涼み会の運営補助、レモネードスタンドでのバルーンアートのプレゼントを行ってきた。
- バルーンアート以外のことも、今後、活動の中に取り入れてみたい。



これまでの活動から

- 定例会を実施していないので、どのように集まり、活動の話合いや準備を進めていけばいいのかが課題。やりたい企画はあるが、実施までの過程での課題がある。
- これまでの活動を継続する場合には、メンバーがその活動の趣旨を理解することが必要。その学習会を開きたいと考えている。

◎自分たちがやりたいことを創り出し、実践までどう結びつけるかが共通課題。

参加者の声

- これまで、バルーンアートはプレゼントとして作ってきたが、今回のように教えて、一緒に作る活動も楽しくて良いことが分かった。
- フライングディスクをつくる時に、その子に合わせるのが大変だったけれど、色々な子どもに関わってよい経験になった。
- ディスクを投げる方を担当し、子どもたちが「的に当たって嬉しい」「もっとやりたい」と喜ぶ笑顔が見れて良かった。
- 子どもたちが自分たちで考えて、遊びを発展していくのが見ていて面白かった。



今回は、自分たちの得意分野を生かした企画、SDGsを意識した企画を考え、準備段階でもお互い、役割分担しながら、自分ができる力を発揮している姿に、若いエネルギーの偉大さを感じました。実践を経て、今後の活動に生かそうとする姿勢や、自分たちの活動への課題意識をもった同年代の仲間の姿に刺激を受ける姿などが見られ、今後の活動がさらに楽しみになりました。今回のサークル交流会は、さくらこどもキャンパス クラッピンサガエさんをはじめ、寒河江市子育て推進課の皆様のご理解、ご協力で実施することができました。ありがとうございました。

村山教育事務所では、MY (Murayama Young) ボランティアの推進を図るために、今後も、サークル交流会やボランティアセミナーを実施していきますので、ぜひ、ご参加ください。